

令和3年度

第20回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和4年1月28日(金)  
開会14時30分 閉会14時56分

場 所 教育委員室

令和3年度  
第20回大分県教育委員会

**【議 事】**

(1) 報 告

- ① 科学の甲子園ジュニア全国大会の結果について
  
- ② リアルとバーチャルで世界とつながる機会の充実について

(2) 協 議

- ① 令和4年度大分県教育委員会の組織改正について

(3) その他

## 【内 容】

### 1 出席者

委 員	教育長	岡 本 天津男
	委 員 (教育長職務代理者)	林 浩 昭
	委 員	岩 崎 哲 朗
	委 員	高 橋 幹 雄
	委 員	高 鈴 木 恵 代
	委 員	岩 武 茂 代
事務局	教育次長	久保田 圭 二
	教育次長	米 持 武 彦
	教育改革・企画課長	重 親 龍 志
	教育人事課長	大 和 孝 司
	義務教育課長兼幼児教育センター所長	武 野 太 雄
	高校教育課長	三 浦 一 雄
	教育改革・企画課 主幹 (総括)	門 野 秀 一
	教育改革・企画課 主査	末 松 敬 雅

### 2 傍聴人

1 名

## 開会・点呼

(岡本教育長)

委員の出席確認をいたします。

本日は、全委員が出席です。

なお、新型コロナウイルス感染防止の観点から、議題ごとに、関係課長のみ入室しますので、よろしくをお願いします。

(岡本教育長)

それでは、ただ今から、令和3年度第20回教育委員会会議を開催します。

## 署名委員指名

(岡本教育長)

本日の議事録の署名については、岩武委員にお願いします。

## 会期の決定

(岡本教育長)

本日の会議はお手元の次第のとおりです。会議の終了は14時55分を予定していますので、よろしくをお願いします。

## 議 事

(岡本教育長)

始めに、会議は原則として公開することとなっておりますが、協議①については、人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。

賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決) 全員挙手

(岡本教育長)

協議①については、非公開といたします。

(岡本教育長)

本日の議事進行は、始めに公開による議事を行い、その後、非公開による議事を行います。

## 【報 告】

### ① 科学の甲子園ジュニア全国大会の結果について

(2課〔教育改革・企画課、義務教育課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、報告第1号「科学の甲子園ジュニア全国大会の結果について」義務教育課長から説明をしてください。

(武野義務教育課長兼幼児教育センター所長)

昨年、10月22日開催の令和3年度第14回教育委員会会議において「科学の甲子園ジュニア大分県大会」の様子と学校法人 平松学園 向陽中学校が大分県の代表になったことを報告しました。

本日は、「科学の甲子園ジュニア全国大会の結果について」報告します。

資料をご覧ください。

全国大会は、12月3日(金)に兵庫県姫路市で開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止等の観点から、各都道府県別での分散開催となりました。本県は、県庁舎別館61会議室で実施しました。

当日は、オンラインでの開会式の後、競技が実施されました。全国大会の競技については、本来は実技競技もありますが、今回は、筆記競技のみの実施となり、理科や数学の問題に協働して取り組みました。

内容は「物理、化学、生物、地学、数学、情報」の6分野で構成され、知識を問う問題とともに、既存の知識を活用して、新たな情報を加えて課題を解決する問題が出題されました。具体的には、「身体の動きを物理の視点で解く問題」や「条件に合わせて特定のカードを導き出す問題」などが出題されました。

別紙でお配りした問題は、その一部になりますので、ご覧ください。

競技時間は70分間で、生徒たちは、まず個別に解く問題を分担して解き、その後、チームで相談をして解答を導き出し、よい雰囲気で行っていました。しかし、残り時間3分で数学分野の解答に誤りがあることにチームで気づき、既に記述した解答を全て消して慌てて書き直しましたが、正解には至りませんでした。

年が明けて、1月17日(月)に結果発表と閉会式がオンラインで実施されました。大分県代表の向陽中学校は、全員1年生でしたが、分野別の情報分野で同率1位を獲得しました。総合成績は29位となっておりますが、1年生のみのチームということを考えると、健闘した結果ではないかと思えます。

全国大会に参加した生徒たちは、県予選、全国大会を通して、与えられた課題に対し、友だちと議論したり試行錯誤したりする中で、科学に対する興味・関心を高め、協働して課題を解決することの楽しさや大切さに気づいたようでした。

最後に来年度の大分県予選についてですが、先日、委員の皆様にご意見を踏まえまして、来年度は、1次予選の会場について、別府会場に加え、日田会場でも開催することを計画しているところです。より多くの中学生が参加できる体制を整えていきたいと考えています。

以上で報告を終わります。

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(岡本教育長)

問題については、どの学年が学習するレベルで出題されていますか。

(武野義務教育課長兼幼児教育センター所長)

例えば、第1問目、物理を使っての人体の問題について、図1は小学校で習う「てこの原理」に関することですが、力のモーメントは高校物理の問題だそうです。ただ、原理をここで説明していますので、そのことを使って解くということになります。

## ② リアルとバーチャルで世界とつながる機会の充実について

(2課〔教育改革・企画課、高校教育課〕入室)

(岡本教育長)

次に、報告第2号「リアルとバーチャルで世界とつながる機会の充実について」高校教育課長から説明をしてください。

(三浦高校教育課長)

「リアルとバーチャルで世界とつながる機会の充実について」説明します。

県教育委員会では、今年度、新たに定めた「大分県グローバル人材育成推進プラン 第3ステージ」に基づき、子どもたちが、世界に挑戦し、多様な価値観を持った人々と協働して未来を切り拓いていく資質・能力の育成に取り組んでおります。

特に第3ステージでは、感染症の影響で、世界的なヒト、モノ、カネの流れが停滞する一方、学校のICT環境が整備されたことを受け、子どもたちがリアル、バーチャルを問わずに世界とつながる機会の充実に努めております。

具体的には、資料の中段にありますとおり、高い満足度と学習効果が確認され

ている「グローバルリーダー育成塾」や「スタンフォード大学遠隔講座」のノウハウを活用することで、県下へのグローバル人材育成モデルの普及を図っております。

ここで、今年度の取組の一部を動画にまとめておりますので、ご覧ください。

【 動画による取組紹介（約2分） 】

このように、グローバルな環境での学習機会を拡げていくことで、大分県長期教育計画の指標である「グローバル人材として活躍するための素地を備えた生徒の割合」は、資料の下段にありますとおり、順調に伸張しております。

今後も、こうした取組を更に充実させることで、大分県が目指すグローバル人材に係る資質・能力の育成に取り組んでいきます。

以上で報告を終わります。

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(林委員)

高校生の英語の会話力は、どのようにして、このようなプログラムに対応できるレベルにまで上がってきたのでしょうか。例えば、英検などを受けることによってなのか、若しくは、国際的なコミュニケーションができる力を養うような授業が行われているからなののでしょうか。教科書だけでは、なかなか難しいと思うのですが、いかがでしょうか。

(三浦高校教育課長)

世界的な課題や自分の身近な課題について、相手から聞いたり、相手に説明したりするなど、学習活動全体を通して、探究的な学びに取り組んでいます。合わせて、海外の方とは、英語をツールとしてコミュニケーションを図っています。英語力だけで、中身がないと話が進みませんので、SDGsやSTEAM教育を活用した取組を進めています。

(林委員)

授業の中において、先生を通じて行われているということでしょうか。このような会話においては、SDGsに関する事など教科書に載っていない単語を使うことが、慣れるまでは意外と難しいものです。そういう点で、素晴らしいと思いつながり映像を見ていました。

(三浦高校教育課長)

学習の中でも、主体的・対話的で深い学びを全教科で進めています。また、総合的な探究の時間でも、探究的な学びを日常的に行っています。生徒が何を課題として捉えるのかを大切にしながら各教科での授業を展開しており、来年度も、このような授業を進めていきたいと思っております。

(林委員)

最近、AIの翻訳プログラムがありますが、高校では使っていますか。

(三浦高校教育課長)

先日、中津東高校の定時制に学校訪問した際、授業でそのソフトが使われている場面を見学しました。各教員は、工夫して使えるツールを適宜使っています。

(林委員)

時々間違えるため、英語を理解できていることが前提ですが、便利なソフトだと思っています。こうしたツールを使いながら、コミュニケーション能力を上げていくことは大切だと思います。

(三浦高校教育課長)

英語を正しく使えているのかというツールの側面と、何を伝えているのかという中身の側面、これらの両面がなければコミュニケーションは難しいため、今後もしっかり対応していきます。

(鈴木委員)

こうした取組は、進学に力を入れている高校にはスムーズに導入可能だと思っていますが、そうではない高校の生徒たちに対しても、英語を話す力を身に付けさせたり、他の国の文化に触れさせたりするのかを考えていかなければ、苦手意識を払拭できず、裾野も広がっていかないのではないのでしょうか。

商業科や工業科、農業科の生徒の皆さんにも、いろいろな活動を一緒にするような機会があると、良いと思います。例えば、私が働く会社には、技能実習生が3か国から来ていますが、言語は違うにも関わらず、徐々に日本語を話せるようになります。それが英語であれば、みんな英語が話せるようになるのではないかと思います。英語を使って簡単な調理を一緒にするなどの機会があれば、もっと世界を身近に感じて、話すことを恐れなくなると思います。そういう機会をもう少し幅広く与えると良いのではないのでしょうか。

(岡本教育長)

「オンライン・スピーキング・レッスン」の取組を紹介してください。

(三浦高校教育課長)

現在、各高校において「オンライン・スピーキング・レッスン」という取組をしており、ALT（外国語指導助手）やAPU（立命館アジア太平洋大学）の学生を活用して、生徒が1対1若しくは1対2で会話を行っています。全県の高校生を対象としていますが、大変好評で効果があると考えています。将来的に、もっと拡げていきたいとも考えています。

また、英語の授業で「読む、書く、話す、聞く」の4技能を育成することが、



学習指導要領に定められており、それを下支えするため、今年度は4技能の試験を高校2年生全体に対して実施しました。教員に個々の生徒が持つ4技能のレベルを認識してもらい、4技能を伸ばすための研修も行います。それと同時に、「グローバルリーダー育成塾」や「オンライン・スピーキング・レッスン」も実施するなど、専門高校、普通科高校に関わらず、どの高校においてもグローバル人材育成の取組が進むよう、重層的に進めているところです。

(岡本教育長)

それでは、先に非公開と決定しました議事を行いますが、その前に、公開でその他、何かありますか。

(岡本教育長)

では、非公開の議事を行いますので、傍聴人は退出してください。

## 【協 議】

### ① 令和4年度大分県教育委員会の組織改正について

(2課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室)

(岡本教育長)

次に、協議第1号「令和4年度大分県教育委員会の組織改正について」教育改革・企画課長から説明をしてください。

(説 明)

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(岡本教育長)

それでは、今回の協議の結果を踏まえて準備を進めていきたいと思えます。

(岡本教育長)

最後にその他、何かありますか。

(岡本教育長)

それでは、これで令和3年度第20回教育委員会会議を閉会します。  
ありがとうございました。